

株式会社CMCエクスメディカの社員が学会に登壇し、
『医薬品情報の構造化とその利活用の推進』について発表しました。

2024年12月4日

2024年11月23日（土）「第44回医療情報学連合大会（第25回日本医療情報学会学術大会）」にて当社グループの株式会社CMCエクスメディカの社員が「医薬品情報のマッピングと構造化に向けた取り組み - 医薬品インタビューフォームのマッピングと医薬品情報相互運用システム「DI-IS」の開発 -」というテーマで発表いたしました。

さまざまな医薬品関連文書が用意・公開されていますが、そのほとんどが非構造的なPDF形式であり、コンテンツ間の相互連携がなされておらず利活用しづらいのが業界的な課題です。

『医薬品情報の構造化とその利活用の推進』をすることで、患者様・医療関係者様にとってはスピーディーかつ質の高い情報取得などのメリットがあります。そういったメリットを、現在特許出願中の当社グループ技術などのデモンストレーションを通じてご説明し、構造化の必要性や課題、その解決策について共有いたしました。

医薬品情報を構造化するためにはさまざまな課題がありますが、患者様のQOL向上と医療医薬品業界のさらなる発展のために、今回の学会発表や当社グループの技術力を通じて一つずつ解決していき、データと共生する社会をつくることに貢献してまいります。

【開催概要】

- 学 会 名 第44回医療情報学連合大会（第25回日本医療情報学会学術大会）
<https://jcmi44.org/>
- 会 期 2024年11月21日（木）～24日（日）
- 会 場 福岡国際会議場、福岡サンパレス
- 発表内容 医薬品情報のマッピングと構造化に向けた取り組み
- 医薬品インタビューフォームのマッピングと医薬品情報相互運用システム「DI-IS」の開発 -
- 発表形式 ハイパーデモ
- 発表者 株式会社CMCエクスメディカ 松本 大毅



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社CMCエクスメディカ

DX推進部 部長 松本 大毅

Email : matsumoto@cmc-xmedica.co.jp